

中野こども病院から患者保護者の皆様へ“今知ってほしい”情報を発信します

## カンピロバクター（食中毒の原因）が流行しています！



カンピロバクターが多数検出されています。バーベキューや飲食店で感染することがあります。菌を特定するには便を培養して調べれば分かりますが、早くても3日ぐらいはかかります。症状としてはどのような特徴があるのでしょうか？

### Q.主な種類、症状は？

A.毒素型（黄色ブドウ球菌、ポツリヌス菌など）と感染型（O-157、サルモネラ、カンピロバクターなど）に分類されます。毒素型は潜伏期間が短く、発熱を伴わず腹痛・おうと・下痢で発症し、感染型は数日から1週間の潜伏期間を経て、発熱・血便・激しい腹痛で発症することが特徴です。

### Q.ロタウイルスやノロウイルスとの違いは？

A.ロタウイルスやノロウイルスでは主に胃や小腸などの上部消化管がターゲットになります。消化能力が落ちるため水様の便になることが多く、胆汁などの消化液も混ざりにくくなるため、薄い色やときに白色の便になります。

一方、細菌による食中毒は主に大腸の粘膜が障害されます。毒素により血流が障害され、粘液混じりの血便となることもしばしばです。O-157などの毒素発生型の菌では、尿毒症などを合併し、全身状態が急激に悪化することがあります。またカンピロバクターによる食中毒では回復後に筋力が低下してくるギランバレー症候群を合併することもあります。

### Q.受診したほうがよい症状は？

A.発熱・血便・しぶりばらと表現する激しい腹痛があれば早めの受診が必要です。水様性下痢だけの場合は、こまめに経口補水液などを飲ませ、おう吐や活気低下、尿量の減少があれば直ちに受診しましょう。

### Q.治療方法・薬はありますか？

A.一般的な食中毒は、安静と水分補給などの対症療法だけで、抗生物質を使わずに回復することが多いです。特にノロやロタでは脱水の予防が重要です。細菌性の食中毒では菌の同定と、毒素に対する対応が重要です。いずれにしても予防が重要となるので、流行する6～9月は食材の保存と調理時の十分な加熱、包丁・まな板の分別、手洗いが大切です。くれぐれもお子様に生の肉などは食べさせないでください。

## 当院の新型コロナウイルスの対応について

当院で新型コロナウイルスのPCR検査はできません。疑いの患者も現在は受け入れていませんので、新型コロナウイルスの感染者との濃厚接触者や感染の疑いのある患者さんは相談窓口へお問い合わせください。

### 新型コロナウイルス感染症に関する

一般電話相談窓口(コールセンター)

大阪市にお住まいの方

06-6647-0641 (24 時間対応)

大阪府(大阪市以外)にお住まいの方

06-6944-8197

(土日祝も対応 9:00~18:00)

※詳細は大阪府、大阪市のホームページをご確認ください

## 当院の流行状況

新型コロナの影響で外出を控えている方が多いためか他の感染症の検出数はとても少なくなっています。

アデノウイルスが検出されています。

カンピロバクターが検出されています。



〒535-0022 大阪市旭区新森4-13-17

社会医療法人 真美会 中野こども病院

TEL: 06-6952-4771

<https://nakano-kodomo.or.jp/>



## 8月の製作内容です



### 当院を受診される患者保護者様へ

- 駐輪場が病院北側にあります。自転車で来院の際はご利用ください。
- お車で来院される際は、病院南側の立体駐車場をご利用ください。病院受診時や面会時にも無料でご利用いただけます。（利用時間6：30～21：00）詳細は常駐している警備員にお声かけください。近隣のご迷惑になりますので路上駐車は絶対におやめください。
- 病院本館東側に車寄せがあります。患者様の乗り降ろしや、入院時の荷物の運搬やお迎えなどにご利用ください。なお、長時間の駐車はご遠慮ください。
- 待合の椅子には限りがあります。子どもたちが座れないことがないように、混雑時は譲り合っておかけ下さい。少しでも待合に多くの患者様が座って頂けるよう、ご協力宜しくお願い致します。
- 当院は全館禁煙、敷地内も禁煙となっております。病院の外で喫煙されても煙が病院内に入ってくることもありますので、病院周辺での喫煙もご遠慮ください。また、たばこのポイ捨ても絶対にしないでください。病気で来ている子どもたちのためにもご協力よろしくお願い致します。
- 診察、検査、処置が終わるまで飲食はご遠慮ください。もどしたり、咳込みの原因になります。
- 駐輪場側の入り口横に売店が出来ました。是非ご利用下さい。